

わが職場

讃岐の讚に光り輝く光、巧みの工に生業を持つ企業として、昭和二十三年四月に産声を上げた我が社は、六十六年もの間さぬき市に根を生やし、地元的光となるべくはかりを起点に事業を行っております。歴史の裏付けか、建物は古いです。スレート葺きの大きな工場、その二階に事務所を構え、レトロ感満載です。事務所も八メートルもの高さに位置しており、自社には階段以外の昇降手段はありません。まさに基礎体力づくりにはうってつけです。ですから、我が社にはまだまだ元気なベテラン社員がたくさんおります。自社の歴史と共に歩んだ経験と技術力と元氣こそが我が社の財産なのです。

我が社には「はかりが起点。展開するのは、人と技術」というキャッチコピーがあります。それ

では人と技術どちらに重みがあるのでしょうか。ハカリを起点に計ってみます。

技術も大変重要ですが生み出すのは人です。どちらが重要かと問われると、やはり人でしょうか。我が社も、お客様はもちろん、社員やその家族も含めた人の豊かさを演出することこそ最重要項目の理念として捉えております。人がすべての起点であり、ハカリそのものなのです。社員や家族、そしてお客様の心のハカリで合格基準を満たすべく企業努力を惜しみません。今、まさに讚光工業は六十六歳。第二の人生に向けての転換期なのです。

さて、そんな讚光工業の安全衛生管理は、品質マネジメントシステムISO9001と並んで、最も重要視している取り組みです。年度初めに安全衛生管理計画書を策定し全行程管理の徹底を計ります。更にリスクアセスメント実施表を用い、

安全管理のチェックを別途細かく行っております。

毎月の安全パトロール、安全衛生委員会の実施、安全スローガンの全員周知など、当たり前的事はもちろん、工場内の5Sの徹底、社内外の安全運転意識、メンタルヘルスケアの実施、AED講習、生活習慣病検診やインフルエンザ予防接種の会社負担など、高度な安全衛生意識を養うべく積極的な活動を行い擦りこみます。人が基本であり、健康が基本であることを共通認識として捉える事が大切なのです。

何歳になっても、我が社の長い階段を上り続けて頂くほどの元気で活力ある社員を育てていく。「ハカリシレナイハカリノシゴト」讚光工業は「はかり」を起点に人を育てる企業として日々イノベーションを起こし続けております。

讚光工業株式会社

チームインフォ一画